

財政健全化実行計画の進捗について

令和3年度決算（財政推計・具体的方策一部見直し後）

■財政健全化実行計画の概要

土別市は、平成29年度から3年連続で3億円以上の基金（市の貯金）を取り崩さなければ収支バランスがとれないほど厳しい財政状況が続いていました。このまま何もしなければ、令和3年度からの5年間で31.7億円もの収支不足が発生する恐れがありました。

こうした危機的な状況から抜け出し、安全・安心な市民生活の確保と市民サービスを継続していくため、10項目からなる具体的方策を位置付けた「財政健全化実行計画」を令和2年12月に策定し、抜本的な財政構造の改善を図ることとしました。

■財政推計と具体的方策の一部見直し

計画の策定以降、新型コロナウイルス感染症の世界的流行や、ロシアのウクライナ侵略に伴う燃料・物価高騰など、社会経済情勢が一変しました。

そのなかで、令和3年度決算では、地方交付税や地方譲与税等の収入増加やなどに伴い、約7億円の黒字を確保し、財政調整基金残高が約15億円となるなど計画と大きな乖離が生じたことから、財政推計と具体的方策の一部見直しすることとしました。

■具体的方策の内容と修正点

定員の適正化



当初計画では、5年間で30人削減することで、約6億円の効果額を見込んでいました。

軌道修正

削減目標の人数は変更せずに、期間を5年間から15年間に延長しました。

歳出の抑制



普通財産の解体事業や視察研修事業（子どもの研修を除く）の計画期間内凍結のほか、補助金や委託料の縮減、市民生活への影響が少ない事業を廃止することなどで約8.5億円の効果額を見込んでいます。

軌道修正

補助金に含まれる人件費削減分については、令和5年度から通常どおりに戻しました。

市立病院経営見直し



将来的な地域の人口に見合った病床数に見直すことで、特別交付税として国から財源措置されるルールがあり、計画期間中に約3億円の効果額を見込んでいました。

軌道修正

新型コロナウイルス感染症への対応を優先し、病床数の削減を令和3年度末に延期したことから、予定していた効果が1年遅れることになりました。

繰出金の縮減



公共下水道事業特別会計などの法的化を見据え、繰出金の見直しを図る計画ですが、令和7年度以降の取り組みになります。

公共施設の最適化



各施設の開館時間や休館日の見直し、管理運営経費の縮減などのほか、施設のあり方を抜本的に見直すことで、1.6億円の効果額を見込んでいます。

投資的経費の抑制



大型の公共事業など、投資的事業に関連する地方債（借金）の借入額を5か年で52億円以内に抑制し、将来の世代に過度な負担を残さないようにする計画です。

包括発注等の実施



複数の施設の清掃業務や機械警備などをまとめて発注し、スケールメリットを生かして効率的に業務を実施することで、約1億円の効果額を見込んでいます。

歳入の確保



ふるさと納税やJクレジットなど、あらゆる歳入確保策に取り組みます。未利用財産を計画的に売却することで5千万円の効果額を見込んでいます。

起債の特例等の活用



職員の退職手当の支払いに充てられる地方債を借入れることで、厳しい時期を短期的に何とか乗り切る計画でした。これは、交付税措置のない借金に当たり、利息負担も発生します。

軌道修正

地方交付税の追加配分やコロナ禍による事業中止などの影響で決算が好転し、財政調整基金（市の貯金）も一定程度確保できたことなどから、借金の必要がなくなり、退職手当債の借入を停止しました。

人件費の独自削減



具体的方策をすべて成し遂げたとしても、大きな収支不足を補いきれない見込みであったことから、令和3年度から5年度までの3年間に限り人件費を削減し、約5.6億円の効果額を捻出する計画でした。

軌道修正

財政調整基金が確保されているなか、地域経済に与える影響などを考慮し、一刻も早く解消すべきとの判断から、令和4年度までの2年間で独自削減を終了しました。（特別職・議員報酬を除く）

●財政健全化実行計画における具体的方策の効果額

(単位：百万円)

具体的方策	R3年度 (2021)		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	令和4年度に実施した 具体的方策見直しの内容
	見込み	実績値	見込み	見込み	見込み	見込み	
定員適正化	230	248	272	146	133	146	5年で30人の削減計画を15年に平準化 R5までの独自削減計画をR4までに短縮
人件費独自削減		達成					
歳出抑制	144	213	177	177	177	177	
市立病院経営見直し	68	0	60	60	60	60	
繰出金縮減	0	0	0	0	0	30	
公共施設最適化	20	20	34	34	34	34	
包括発注等	20	30	20	20	20	20	
歳入の確保	10	25	10	10	10	10	
起債特例等活用	0	0	0	0	0	0	退職手当債の借入を停止
その他	0	8	0	0	0	0	
効果額合計	492	544	573	447	434	477	

※効果額未達成の理由

市立病院経営見直し	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、病床削減時期を令和3年度末としたことから、効果額として見込んでいた特別交付税措置が令和4年度からとなったため
-----------	--

●具体的方策の効果額を含む一般財源ベースでの推計値

(単位：百万円)

<歳入>

科 目	R3年度 (2021)		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	令和4年度に実施した 推計見直しの主な内容
	推計値	決算額	推計値	推計値	推計値	推計値	
市税	2,026	2,176	2,239	2,206	2,171	2,166	R2、R3決算を踏まえ推計
地方譲与税等	791	886	831	875	875	875	現行制度、近年の動向等を踏まえ推計
地方交付税	7,833	8,255	8,095	7,977	8,061	8,057	R4年度交付税算定結果を踏まえ推計
国・道支出金	6	406	5	5	5	5	ローリング後の総合計画を反映し推計
諸収入	30	84	30	30	30	30	
地方債	350	387	101	200	200	200	現行制度を踏まえ推計
その他	65	105	628	214	56	56	
歳入合計①	11,101	12,299	11,929	11,507	11,398	11,389	

<歳出>

(単位：百万円)

科 目	R3年度 (2021)		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	令和4年度に実施した 推計見直しの主な内容
	推計値	決算額	推計値	推計値	推計値	推計値	
人件費	2,428	2,480	2,547	2,641	2,664	2,726	独自削減早期解消、定員削減平準化を踏まえ推計
扶助費	762	606	589	596	596	599	R2、R3決算を踏まえ推計
公債費	2,534	2,580	2,742	2,554	2,479	2,457	ローリング後の総合計画を反映し推計
物件費	1,413	1,465	1,599	1,485	1,504	1,512	燃料、物価高騰の影響を踏まえ推計
維持補修費	530	593	542	549	561	568	
補助費	2,007	1,946	2,066	2,035	2,091	2,105	ローリング後の総合計画を反映し推計
繰出金	1,410	1,390	1,341	1,337	1,329	1,332	ローリング後の総合計画を反映し推計
投資的経費	163	297	185	408	194	252	ローリング後の総合計画を反映し推計
その他	1	240	1	1	1	1	
歳出合計②	11,248	11,597	11,612	11,606	11,419	11,552	

単年度収支③ (①-②)	▲ 147	702	317	▲ 99	▲ 21	▲ 163	
--------------	-------	-----	-----	------	------	-------	--

財政調整基金残高見込	578	1,161	1,399	1,459	1,438	1,275	
------------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	--